

## 8-4 国際交流・多文化共生の推進

国際理解を深めるとともに、国籍等の異なる人々が、お互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員として生きていくための多文化共生を進めていきます。

### ■施策の展開内容

在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。

### ■現状と課題

- 本市には、令和3年1月現在、1,995人の外国人が居住しており、人口の約1.5%を占めています。日本人と外国人の市民が異なる文化や慣習を互いに理解し、安心して暮らせるまちづくりを進める必要があります。
- グローバル社会の進展や情報通信技術の発達などにより、日常生活の中で外国人と交流する機会が増えています。市民が外国人とのコミュニケーション能力を身につけ、国際理解を深められるよう支援していくことが求められています。

### ■主な取組

#### 国際交流・多文化共生の推進

- 我孫子市国際交流協会をはじめとする関係団体などと連携して、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会の提供や情報発信に取り組みます。
- 多言語による行政情報の提供や相談支援などを推進し、在住外国人が安心して暮らせる環境の整備を図ります。

■ 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
「外国人のための日本語教室」 登録者数	58 人 (R2)	93 人	
国際交流まつりの来場者数	680 人 (R2)	690 人	

■ 施策の満足度・不満足に関する指標（現況値は令和元年の市民アンケート結果を記載）

【国際性をはぐくみ外国人も暮らしやすいまちの実現】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 58.7%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		20.1%	41%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	12.0%	9.5%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	11.9%		
	湖北地区	13.6%		
	新木地区	9.6%		
	布佐地区	16.5%		